東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2006年11月10日

清潔さ

親愛なるムスリムの皆様。「（大衣に）包る者よ、立ち上って警告しなさい。あなたの主を讃えなさい。またあなたの衣を清潔に保ちなさい。」（包る者章第１－４節）

ここで紹介したクルアーンの節からも読み取れるように、１４００年前に預言者ムハンマドに最初に下された啓示の一つが、清潔さに関するものでした。

清潔さはイスラームの最も基本的な条件の一つです。クルアーンでは「誠にアッラーは、悔悟して不断に（かれに）帰る者を愛でられ、また純潔の者を愛される。」（雌牛章第２２２節）「人びとよ、地上にあるものの中良い合法なものを食べて、悪魔の歩みに従ってはならない。」（雌牛章第１６８節）と示されています。聖ハディースでも、「服を洗い、剃毛を行い、歯を清潔にしておきなさい。」とされています。

イスラームが清潔さに与える重要性のうち、最も大切なものの一つが、イバーダを行なう前に体を清めることが命じられているということです。日に何回が行なわれるウドゥーによって、体の中で最も汚れやすい部分が清められます。また一方で、イスラームにおいて清めは一つのイバーダでもあるのです。通常のウドゥーも、グスルも、宗教上の命令なのです。

ムスリムの皆様。多少でも歴史を学んだ人は、西洋世界が清潔さと言うものをイスラーム教徒から学んだと言うことを知っているでしょう。世界的に有名な香水の各種がフランスで生まれたことには、非常に興味深い理由があることも知られています。

清潔さには多くの種類があります。どれもそれぞれに重要なものです。体の清潔さ、歯や口の清潔さ、周囲の清潔さなどです。技術の発達によってより様々なことが可能になってきたこの現代において、人々が体の清潔さを気に止めず、好ましくないにおいを漂わせて外に出ることに関しては、どんな弁解も受け入れられません。ムスリムは少なくとも１日一回はシャワーを浴び、体をきれいにしておく必要があります。歯磨きを習慣づけ、定期的に爪を切り、わきの下などの毛もそっておく必要があるのです。

親愛なるムスリムの皆様。清潔さの為に、過去においてもいくつかの道具や薬が使われてきましたが、現在ではより近代的な道具や手段があります。例えば歯ブラシ、歯磨き、剃刀、シャンプーなどはその例でしょう。だからこれらを使用することはより適切といえるでしょう。また歯の清潔の為にミスワークを使用する場合は、ミスワークを清潔に保つことも重要です。

親愛なるムスリムの皆様。一部の動物は、意識を持たないにも関わらず、清潔さを決して忘れることがありません。例えばネコは、いつでも外にいるにもかかわらず、決してにおうことはありません。トイレの習慣もきちんとしており、清潔です。ここには当然、人間への重要な課題が秘められています。清潔でいることは、知性と意識を持つ人間にとって基本的な任務なのです。